

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●インフルエンザが引き続き警報レベルです!!●

熊本市の定点医療機関あたりの報告数が、55.96(定点数25ヶ所、患者報告数1399人)となり、先週より少し減少したものの、依然警報レベルを超えています。また、B型の報告が多くを占めています。引き続き、手洗い、咳エチケットを心がけ、感染予防に努めましょう。

◆小児、未成年の異常行動について

＜異常行動の例＞

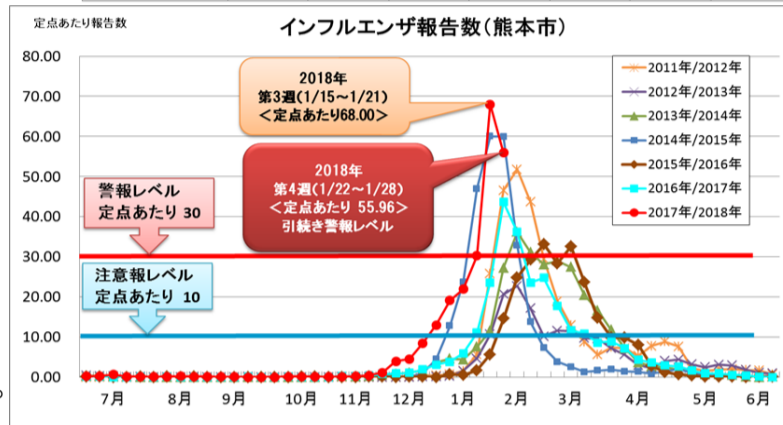
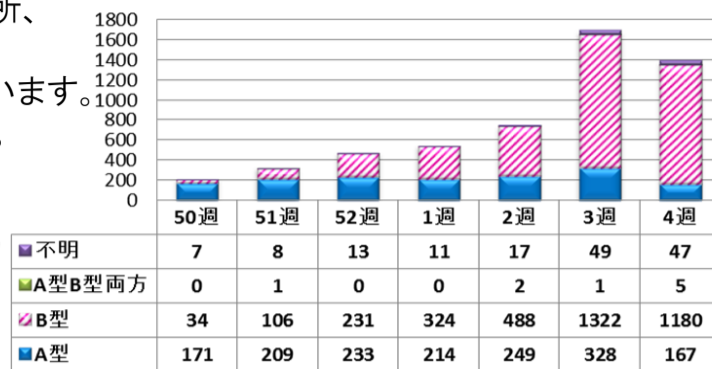
- ・ 突然立ち上がって部屋から出ようとする
- ・ 興奮状態となり、手を広げて部屋を駆け回り、意味のわからないことを言う
- ・ 興奮して窓を開けてベランダに出ようとする
- ・ 自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない
- ・ 人に襲われる感覚を覚え、外に飛び出す
- ・ 変なことを言い出し、泣きながら部屋の中を動き回る
- ・ 突然笑い出し、階段を駆け上がろうとする



小児、未成年でインフルエンザにかかった時には異常行動が出るがあると報告されています。インフルエンザにかかったら、抗インフルエンザウイルス薬の投与の有無にかかわらず、少なくとも2日間は、小児・未成年者を一人にしないで、容易に住居外に飛び出ないための対策をしましょう。

- ・ ベランダに面していない部屋で寝かせましょう。
- ・ 窓に格子のある部屋で寝かせましょう。
- ・ 一戸建ての場合はできる限り1階で寝かせましょう。(窓に格子がある部屋がある場合)
- ・ 玄関や全ての部屋の窓の施錠を確実にいきましょう。(内鍵、補助錠がある場合はその活用を含む。)

熊本市インフルエンザ型内訳



期 間	疾患名 (百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)	疾患の増減	平成30年 3週 1/15~1/21		平成30年 4週 1/22~1/28(最新)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
	インフルエンザ	警報レベル	1700	68.00	1399	55.96
	RSウイルス感染症		2	0.13	1	0.06
	咽頭結膜熱(プール熱)		6	0.38	4	0.25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		20	1.25	16	1.00
	感染性胃腸炎		66	4.13	93	5.81
	水痘(みずぼうそう)		3	0.19	3	0.19
	手足口病		7	0.44	3	0.19
	伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
	突発性発しん		8	0.50	8	0.50
	ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		1	0.06	2	0.13
	急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)		6	1.20	9	1.80
	細菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00